

9月13日(土)

大ホール		小ホール	
13:00	会頭講演 「Raise to a higher dimension」 西本 隆		
14:00	招待講演 「中医体質学説とその臨床意義」 王 琦		
15:10	シンポジウム① 「認知症ケアの最前線」 座長:酒谷 薫 【シンポジスト】 「ユマニチュードによる認知症ケア」 本田 美和子 「高齢者の認知機能に対する化粧品療法の効果」 谷田 正弘 「認知症に対する鍼灸治療の効果」 兵頭 明 「認知機能とストレスに対する運動療法の効果」 酒谷 薫	14:10	一般公開講演 「中医学で美しく健やかに～自宅できるセルフケア～」 座長:土方 康世, 頼 建守 < 基調講演 > 河田 佳代子 「おうちで薬膳」 板倉 啓子 「おうちでツボケア」 中村 真理
		16:20	実技講演① 「鍼灸がちゃんと効いたとき、脳はどうなっているのかNIRSで調べてみました」 ～不安レベルへの鍼の効果と前頭前野皮質のNIRS活動計測～ 藤井 正道
18:00	懇親会(2F 瑞雲の間)		

9月14日(日)

大ホール		小ホール	
9:20	シンポジウム② 「かつて、なにわにこんな中医学があった～中島随象の遺産～」 座長:中島 正光, 田中 秀一 【シンポジスト】 「山本巖と中医学」 日笠 久美 「伊藤良と中医学」 河田 佳代子 「松本克彦と中医学」 松川 義純 「田川和光と中医学」 西本 隆	9:20	シンポジウム⑤ 「穴性問題」 座長:篠原 昭二 【シンポジスト】 「穴性をめぐる中国の動向」 井ノ上 匠 「穴性についての考察」 金子 朝彦 「穴性アンケート調査報告」 瀬尾 港二
		10:35	海外からの特別講演 「乾咳的中醫治療」 陳 曉鈞 「中医体質養生法による体質と健康関連QOLの改善効果」 朱 燕波 「台湾中醫在治療失智症有獨到的成效」 林 舜毅
11:20	招待講演 「認知症における台湾中医診療の過去、現状と展望」 曹 永昌	11:30	一般演題① 「重症の眩暈に対して鍼灸治療が即効性を示した一例」 福岡 豊永 「漢方と鍼灸併用治療による関節水腫治療の症例報告」 鄭 冬梅 「漢方・鍼灸治療による閉経後月経再開2例」 何 仲濤
休憩	国際交流ステーション(4階研修室)		
	① Prescription Pattern of Chinese Herbal Products for Dementia in Taiwan: A Population-Based Study 呉 建東 ② 戴 昭宇 ③ 香港		
13:00	シンポジウム③ 「アンチエイジングと中医学」 座長:西田 慎二, 和辻 直 【シンポジスト】 「エイジングの鍵を握る腎—その概念の変遷と対処法—」 加島 雅之 「加齢に伴う疾病への漢方臨床の実践」 西森 婦美子 「健やかな長寿の実現に向けた鍼灸治療の取り組み—高齢者疾患に対する鍼灸治療の効果から—」 江川 雅人 「老化促進マウスを用いた腎気概念の検討」 萩原 圭祐	13:00	一般演題② 「ノビレチン高含量陳皮のアルツハイマー病患者の認知機能に対する効果とその機序」 関 隆志 「日中における腹部圧痛所見の相違」 川又 正之 「左卵管切除および右卵巢を摘出後に自然妊娠した症例」 楊 晶 「尋常性乾癬の漢方薬」 司馬 張 「厚朴、枳実、大黃からなる同一生薬構成で生薬量の異なる方剤、厚朴三物湯と小承気湯の方意を抗酸化力から考える」 高橋 薫 (学生発表) 「呉茱萸湯をいかに飲みやすくするか」 奥村 滋邦 「医学生の中医学へのイメージ」 津村 成美
14:40	シンポジウム④ 「リウマチと中医学」 座長:萩原 圭祐, 齊藤 宗則 【シンポジスト】 「中医学におけるリウマチの病態生理」 山本 亜沙子 「リウマチの漢方臨床 肝鬱気滞への配慮等」 田中 耕一郎 「ガイドラインを踏まえた関節リウマチの融合治療について」 萩原 圭祐	14:40	実技講演② 「中医鍼灸の臨床について様々な問題点」 「鍼灸三通法の実践」 賀 偉